

第109回教育研究評議会議事録（要録）

平成25. 12. 17（火）16:30～17:15

場所：本部棟5F1会議室

出席者	浅原, 坂越, 上, 吉田(総), 岡本, 平野, 相田, 江坂, 佐藤, 富永, 平川, 神谷, 寺本, 宜名眞, 吉栖, 菅井, 杉山, 吉田(光), 岩永, 市來, 宮谷, 小山, 西村, 谷口(雅), 楯, 高島, 谷口(幸), 吉村, 藤原, 木下, 小林, 梯, 杉本, 餘利野, 稲葉, 植松, 三浦, 藤村, 相原, 中島, 吉田(和) 以上 41人
欠席者	茶山, 勝部, 栗原, 吉川
オブザーバー	西口, 間田, 河野, 棚橋, 橋爪, 三嶋, 古澤, 西谷, 野呂瀬, 西嶋, 青山, 藤本, 山根, 中島, 渡邊, 小谷, 羽田, 高橋, 三井, 甲斐, 河村

(議事)

1. 教育研究評議会における学長候補適任者に関する投票方法の見直しについて — 別紙1  
(学長提案・渡邊副理事(財務・総務企画担当)説明)

学長選考会議から意見照会があった、教育研究評議会における学長候補適任者に関する投票方法の見直し案について提案・説明があり、審議の結果、特段の意見はない旨回答することとした。

2. 教員活動の個人評価の方法について ————— 別紙2  
(学長提案・説明)

本学の研究力強化策の1つとして、教員活動の点数化・個人評価を行う方法の方向性について提案・説明があった。

審議の結果、研究大学促進事業の本学の取組構想を踏まえ、個人評価の点数化・処遇への反映について、各部局等で検討することとした。その際、研究推進機構会議及び教育・国際室で検討された評価方法、評価項目を参考にすることとした。

なお、各部局等で検討した個人評価は、評価委員会の審議を経て、自然系(理・工・農・医系)は平成26年度後期から、人文・社会・教育系は平成27年度後期から実施することとした。

3. 広島大学職員給与規則の改正について ————— 別紙3  
(平野理事(財務・総務担当)提案・説明)

一般職の職員の給与に関する法律の改正を参考に、55歳超え職員の昇給について、勤務成績が特に良好又は極めて良好である場合に限り行い、標準(良好)の勤務成績では昇給しないこととするため、広島大学職員給与規則の改正について提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり平成26年1月1日から施行することを承認した。

(報告)

1. 科学研究費助成事業について ————— 資料1  
(吉田理事・副学長(研究担当)報告)

平成26年度科学研究費補助事業の応募状況、平成25年度科学研究費補助事業の採択状況及び総務省による科研費等の適正な使用の確保に関する行政評価・監視の結果報告について、以下のとおり報告があった。

- 平成26年度科学研究費補助事業の応募件数及び応募率は、昨年度から若干のマイナスであるものの、経年の誤差であると考えており、全体としては良い状況である。
- 平成25年度科学研究費補助事業の採択状況については、新規採択件数が大型の種目が採択されたことにより全国8位となり、新規採択率が30位にランクインした。また、若手種目採択率が5位となった。

- ・ 総務省による科研費等の適正な使用の確保に関する行政評価・監視において、研究期間最終年度の年度末に研究機器を購入している事例があり、不適切であると指摘を受けた。

2. 機密書類・個人情報の保管の徹底等について ----- 資料2  
(学長, 谷口生物生産学部長報告)

生物生産学部における入試関連書類の紛失事件を踏まえ、同部局が策定した対応策について報告があった。また、学長から、他部局においても、機密書類・個人情報については今後一層厳重に管理するよう、教職員への周知徹底について指示があった。

(資料配付による報告)

次の各事項については、資料配付をもって報告とした。

1. 平成25年度学位記授与式及び平成26年度入学式の挙行について --- 配付資料1  
(財務・総務室)

2. 各種表彰等の受賞者について ----- 配付資料2  
(財務・総務室)

以上 (資料添付略)